

令和6年11月1日

futbol y vida

Poco a poco ...
bogo y bogo ...

溝を持して挑んだ大成の壁は高かった!!

51期生のfootballはもう少し続く!!

2024選手権は二年連続で大成高校に敗れ“Best16”で終了!!

あと少し、もう少し、“聖地：西が丘”の道のりは、遥か遠く…

10月26日(土)、選手権大会東京都予選二次トーナメント三回戦が南豊ヶ丘フィールドで行われました。対戦相手は同じ七地区の大成高校 (T2) で、今年度の関東大会では優勝、インターハイこそは逃しましたが、現在、T2 リーグではトップを快走中とチームは調子が良く、初の選手権東京代表を狙っています。ベスト8の壁＝(イール)強豪校との勝負は厳しい闘いになることは必至です。昨年を超えるために、この一週間は、会場となる南豊ヶ丘フィールドや日本文化大学の人工芝グラウンドでトレーニングするなど強豪校との闘いに向けて万全の準備をしてきました。それにしても、二年連続で二次トーナメントでの対決はさすがに運命を感じます。少しは高校サッカーの話題にもなりました。



⚽二年連続で大成高校に挑む⚽

「51期生は“リベンジ”ではなく“チャレンジ・マッチ”」 ベスト8を賭けた大成戦キックオフ!!

昨年と同じカードに周囲は賑やかになるものです。9月中旬の組み合わせ抽選会で武蔵高校に勝利すれば大成高校との再戦が決まりましたが、周囲の騒音をシャットアウトして敢えてその先で待っている大成戦には触れずに初戦の武蔵高校戦に勝利するために一か月間準備をしてきました。そして、掴んだベスト8を賭けた大成戦。昨年の“リベンジ”ではなく、51期生の高校サッカー集大成である選手権。過去を引きずらず、前向きに“チャレンジ・マッチ”として強豪校に挑みました。この一年間取り組んできた“K's football style” トレーニングの成果全てをこのゲームにぶつけ一歩でも、少しでも先輩たちを超えるために!!

大成高校のキックオフで始まりました。序盤は、“K's football style” と新たに取り組んできた「Attacking deffence」で十分に闘えていたと思います。もちろん、個々の能力は相手の方が数段上だと感じる場面もありました。それが、先制点の場面でのハイラインを掻い潜っての抜け出しとGKの位置を見て(インプットされていた?)のループシュートでした。でもここまでは想定内でしたが、飲水タイム前の3回目のセットプレーでの失点は、メンバーもベンチも警戒し集中した中での失点で、結果的にはこれが勝負を左右することとなりました。

二点リードされましたが、ハーフタイムでの子どもたちは十分にやれる手ごたえを感じていたようです。いつものようにセンターを攻略して、いい勝負をしているサイドを使うように指示して後半を迎えました。(この日はややサイド攻撃が多かった。右写真⇒)



あと少し、もう少し、しかし、立ちはだかる壁は高く、厚かった…

後半、点を取るしかなくなり前に出て行きましたが、後半6分に相手陣地でボールを奪われると50mの独走から上げたセンタリングを逆サイドで合わされ三失点目。さらに、12分、30分、37分と全てボールを奪われてカウンターと、大成高校の狙い通りシンプルにオープンサイドを使われてスピードで振り切られてしまいました。全て崩された失点ではありませんが、さすがT2で首位を走るだけのことはあります。こちらとしては、もう少しダブルボランチに付けてくるのではと思っていたのですが、思惑通りにはいかないものです。結果的には昨年同様点差が開き、高校サッカー関係の記事やコラムには「**完敗**」と書かれ、残念ながら今年度も大成高校の壁を超えることはできませんでした。しっかりと受け止めたいと思います。

しかし、闘った選手たちは個々の力のトータルが組織力に繋がるのでそこはスタートの時点から埋めきれないものと理解しながらも大成高校相手に真っ向勝負を挑み、三年間積み上げてきた成果特に人数をかけてコンビネーションによるセンターからの崩しがこのゲームでも垣間見られたことで自信を深めたようです。只し、攻撃サッカーを謳っているチームとしては一点も取れなかったことだけが唯一の心残りです。51期生ラストのリーグ戦に繋げていきたいと思います。

2024 選手権二次トーナメント三回戦 VS大成 SNAP!!



-2024 Team Katakura-
『**聖地：西が丘への道**』
2024選手権は**ベスト16!!**
“夢”の続きは**52期生**に託す!!
たくさんの応援ありがとうございました!!
“**勇往邁進**”して闘うことができました!!



<After the Game>

早いもので、大成高校戦から二週間が経過しました。先週、「**全国大会へ!!**」思いを託した大成高校が東京実業によもやのPK合戦の末に敗れました。これぞ高校サッカーです。

2024 選手権大会は**ベスト16**で終了しましたが、三年連続でここまで勝ち上がったのは、サッカー部をサポートしていただいた全ての方々のお陰であると感謝しております。ありがとうございました。また、嬉しいことに今年も片倉高校サッカー部サポーターが増えたように思います。片倉高校のように普通の子どもたちの集まった普通の公立高校が勝ち上がって、強豪校に立ち向かっていくストーリーはドラマティックなのかもしれません。しかし、サッカー部の子どもたちは、昨今の風潮である「**キツイ・厳しい・辛い**」トレーニングから逃げることをせずに、最後まで勇往邁進に立ち向かっているからこそ多くの人から応援されるようになったのです。「**西が丘は一日にして成らず!!**」片倉高校サッカー部員は三年掛けて逞しくそして信頼される人に成長します